

提出日 令和 7年 6月 9日

会 派 視 察 報 告 書

以下のとおり視察したので報告します。

1 所属会派名及び参加議員

【会派青雲】 迫間輝昭、川内賢幸、たかだみか、温水智久、広瀬功三

2 視察先及び対応者

① 山之口シルバーヤングふれあいの館

山之口総合支所ほか 市職員 4名

② 山田総合福祉センター けねじゅ苑

山田総合支所ほか 市職員 3名

3 視察日時

令和7年5月30日（金） 13時30分～16時00分

4 視察理由及び視察内容

◎利用が廃止又は廃止される施設の現況と今後利用の可能性

① 山之口シルバーヤングふれあいの館

山之口シルバーヤングふれあいの館（以下「ふれあいの館」という。）は、現在、多目的ホール、会議室、調理実習室などがある棟のほか、隣接する弓道・四半的場を含め「シルバーヤングふれあいの里」として都城市社会福祉協議会が指定管理者として管理している。

今回、令和4年度に廃止した通所介護事業に伴い利用されていないままとなっている厨房、食堂のほか、宿泊のための個室、浴室等を備えた棟を重点的に視察した。

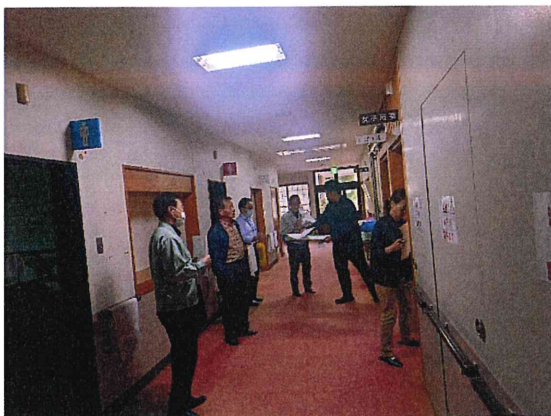
② 山田総合福祉センター けねじゅ苑

山田総合福祉センターけねじゅ苑（以下「けねじゅ苑」という。）は、地域の福祉活動の拠点として利用されている。現在、都城市社会福祉協議会が指定管理者として管理している。施設は地域団体が活発に利用している状況が伺えるほか、令和8年度を持って廃止予定のデイケア事業については、現在38名が利用登録をしている。デイケア事業に関する施設部分の視察とあわせ、今後のけねじゅ苑の活用について担当者と意見交換した。

5 視察の感想

① ふれあいの館

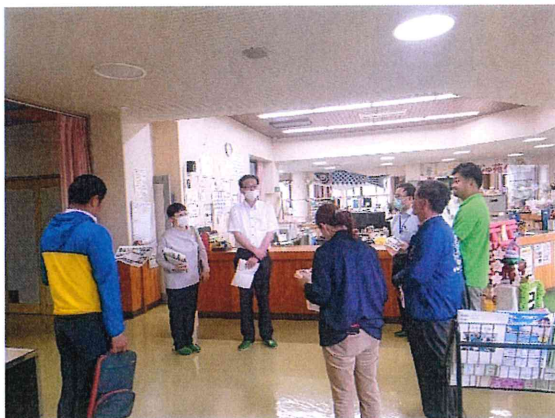
利用を停止している棟には、厨房、大食堂、休憩室、男女浴室、集会室のほか、6畳の居室を5部屋備えており、新しく設置された陸上競技場とも近いこと、ふれあいの里として整備されている他の施設利用も考慮すれば、団体による利用の可能性は高いと考える。ただし、そうしたことを進めるならば、当該部分の施設の状況、雨漏りや給水、空調などの状況を確認し、一体的に整備し直す必要があると思われる。



② けねじゅ苑

山田地区ではこれまで地区民児協を中心に いろいろな見守り活動、支援活動等に取り組まれており、けねじゅ苑は地域の福祉活動の拠点として利用されてきている。そうした中で、デイケア事業を廃止する影響を心配していたが、多くの利用者の民間施設への移行は進んでいた。

また、事業廃止に伴う施設部分と貸館部分は仕切りがなくオープンとなっているため、今後の施設利用については、将来的な地域づくりの中で当該施設の在り方を市と地域と一体になって充分協議しておく必要があると感じた。



6 視察の成果及び市政への反映等

今回視察したような施設は、今後増加してくることが想定される。これまで用途廃止された施設は、適切に活用されることが少なく、老朽化が進んだ段階で解体などの対応が取られていた。しかしながら、用途廃止された施設は除却されない限り市が持つ資源であるので、この活用については用途廃止の決定と併せ、市民と十分に議論しておく必要がある。

● 「ふれあいの里」

新陸上競技場に近いことから合宿等の受け入れのために、周辺施設と一体的に整備し直すことを検討すべきである。

● 「けねじゅ苑」

現在も活用されているため用途廃止予定部分については、そのまま類似事業の活用が可能である。これまで当該施設が地元住民を中心に活用されてきたことを考慮すれば、地域の福祉拠点としての活用は継続すべきである。また、そのための具体的な活用方法については、地域住民やまちづくり協議会を含め十分な議論が必要であることを付け加える。